

令和7年度

区政世論調査

区政世論調査へのご協力ありがとうございました。今号では、調査結果の概要をお知らせします。すべての結果は、区役所地下1階情報提供コーナー、各図書館、荒川区ホームページ（下の二次元コード）で閲覧できます。

※小数点第2位を四捨五入したため、回答比率の合計が100%にならないものがあります



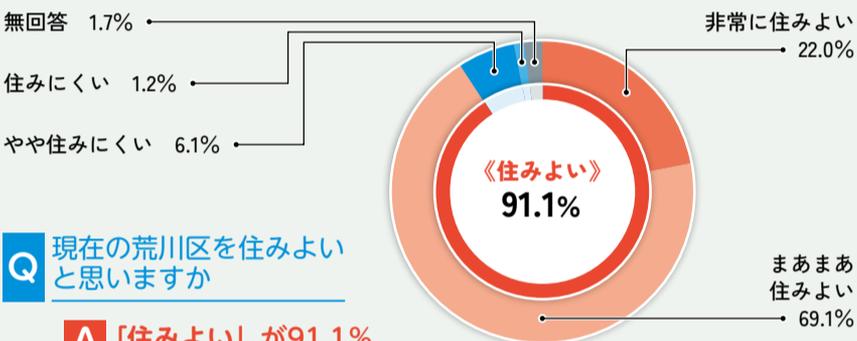
対象 区内在住の満18歳以上の方 **人数** 3000人(無作為抽出)

配布方法 郵送 **回収方法** 郵送・インターネット

調査期間 令和7年8月30日～9月30日 **回収数(率)** 1552件(51.7%)

問合せ 秘書課総合相談係 ☎内線2162

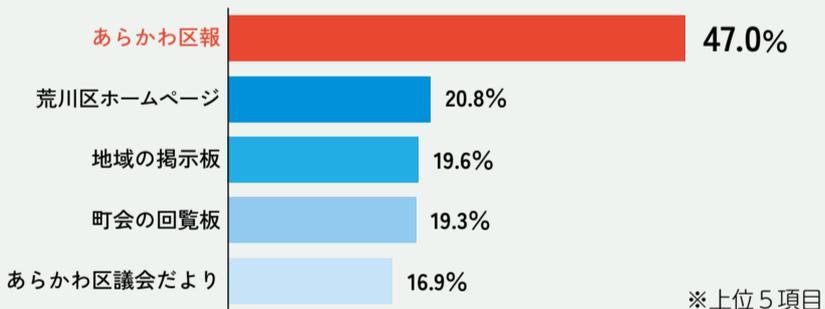
居住と生活環境



広報活動

Q 区政に関する情報は、どのようにして入手していますか（複数回答）

A 「あらかわ区報」が47.0%

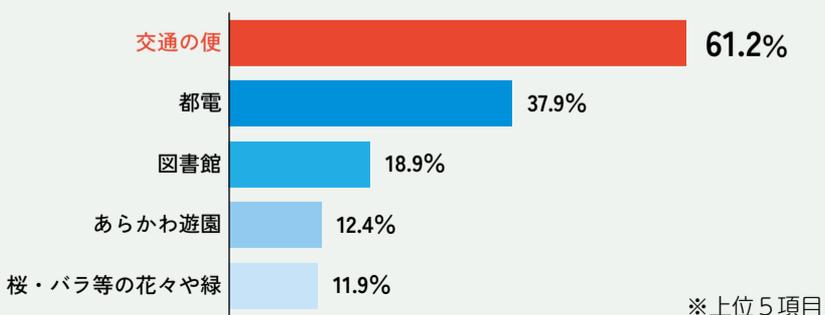


あらかわ区報は、原則毎月3回（1日・11日・21日）発行し、新聞折り込みで配布しています。なお、区内在住で新聞を購読していない希望者の自宅へ直接届けるサービスもあります。また、SNSやYouTubeでも積極的に区政情報を発信していますので、ぜひ、ご活用ください。

荒川区の魅力

Q 荒川区の魅力と感じているものは何ですか（複数回答）

A 「交通の便」が61.2%

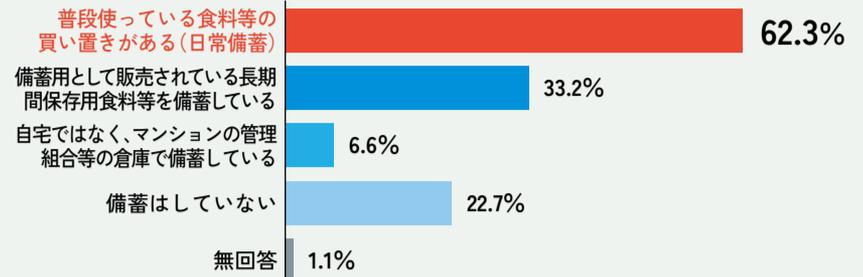


区の多彩な地域資源を活かすとともに、さらなる魅力を発掘し、区内外に広く発信することで、荒川区をもっと好きになるようなティプロモーションの取り組みを推進します。

防災対策

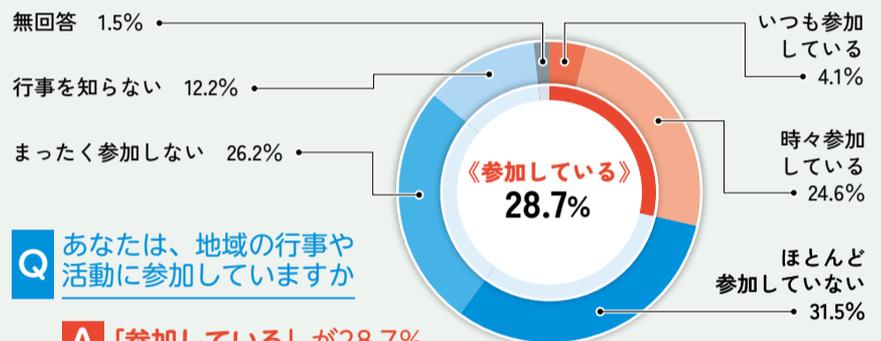
Q 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取り組みをしていますか（複数回答）

A 「普段使っている食料等の買い置きがある(日常備蓄)」が62.3%



災害時は、食料や生活用品等の確保が困難になります。災害に備え、区では7日間分以上の備蓄を推奨しています。備蓄する場所に困っている方は、食べ物や日用品を日ごろから少し多めに買い置きしておき、消費した分を買い足すことで無駄なく常に一定の備蓄量を保つ「日常備蓄」が効果的です。

地域とのつながり・暮らし

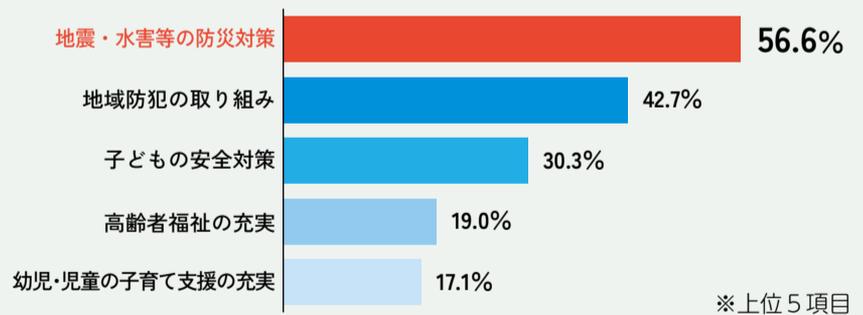


参加している方が一定数いる一方で、関わり方は多様化しています。区では、町会・自治会をはじめとした地域活動の支援や、地域のつながりづくりに関する情報発信等を通じて、それぞれのライフスタイルに応じて地域と関わる環境づくりを進めています。

区政への関心と要望

Q 今後、区に特に力を入れてほしいと思うものは何ですか

A 「地震・水害等の防災対策」が第1位



寄せられた自由意見の一部を紹介します

区内で起きている事件等をLINE等で知らせしてほしい

▶ 防犯情報を配信しています

荒川区LINE公式アカウント、X、Facebook、メールマガジンで、区内の犯罪・不審者・アポ電情報等を配信しています。詳細は、荒川区ホームページ（右の二次元コード）をご覧ください。



高齢者には、防災対策器具の取り付けや感震ブレーカーの設置の手助けがほしい

▶ 屋内安全対策器具助成の活用を

区では、家具の転倒等防止対策器具や感震ブレーカーの助成をしています。購入費用だけでなく、設置費用も助成の対象となります。詳細は、荒川区ホームページ（右の二次元コード）をご覧ください。



※その他の自由意見は、荒川区ホームページの報告書で閲覧できます。また、自由意見への回答は、3月下旬に、荒川区ホームページでお知らせします